■セイコーデジタルS640の主な特長

この時計は、予め目標タイムを入力しておくと実際に計測したタイムとの差を自動計算するクロノグラフ機能、120本の計測タイムをメモリー（記憶）し、呼び出す（計測中、計測後）ことが出来るリコール機能付の本格派ランナー向けスポーツウオッチです。暗闇でも表示全体を確認することができる内部照明（全面パネルライト）機能もついています。

- スタートからラップ、スプリットタイム計測まで、フロントの大型ボタンで無理なく確実に操作できます。
- クロノグラフモードのときは上段の表示が現在時刻表示、ラップタイム表示またはターゲットタイム表示のいずれかを選択し表示させることができます。
- ターゲットタイム（目標ラップタイム）を入力してクロノグラフを使用すると、ラップタイム測定時に目標ラップタイムと実際にかかったラップタイム差を自動計算し、その値を表示します。
- ラップ、スプリットタイムを120本までメモリー（記憶）できる大容量のメモリー機能を持っています。更に120メモリーを1回、60メモリーを2回、30メモリーを4回のいずれかのパターンに分割して使用できますので、便利です。

「時刻・カレンダー機能」
- （年）、月、日、曜日、時、分、秒、サマータイムマークを表示します。（年は時刻合わせの時のみ表示します。）
- 1995年から2044年までの50年間、うるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。

「クロノグラフ機能」
- 1/100秒単位で計測できる10時間けたのストップウオッチ機能です。
- ターゲットタイム（目標タイム）と実際にかかったラップタイムとの差を表示することができます。また、遅れた場合はタイムアップ音でお知らせします。
- ラップ、スプリットタイムを120本までメモリー（記憶）することができます。
- 分割メモリーのチャンネル（ch）を選択することができます。

「リコール機能」
- メモリーしたデータ（ラップ回数、ラップタイム、スプリットタイム）を計測後はもちろん、計測中でもリコール（呼び出す）することができます。
- 120本のメモリーを分割することができる「分割メモリー機能」が付いています。

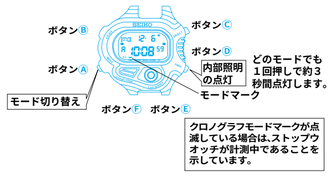
「アラーム機能」
- 設定した時刻（時、分）に毎日鳴るデイリーアラームです。
- アラームのセット／解除（on/--）を切り替えることができます。

「内部照明（全面パネルライト）機能」
- 専用ボタン操作により、どのモードでも1回押しで約3秒間点灯します。
- 物質に電圧をかけると光を放す現象（エレクトロルミネッセンス＝EL）を利用した発光方式を採用しています。

※エレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
（詳しくは"エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）の交換について"の項をご参照ください。）

■ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻・カレンダーモード



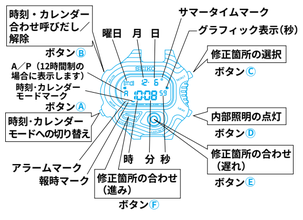
クロノグラフモードマークが点滅している場合は、ストップウオッチが計測中であることを示しています。

●ボタンⒶを押すごとに、次の順序で切り替わります。

※操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。
「アラームモード」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わるところのみ音色が違います。
（操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。）
※ボタンⒹを押し続け内部照明を点灯させている状態では全てのモードにおいて他のボタンが機能しません。

■時刻・カレンダーの合わせかた

●ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒶを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。
①ボタンⒷを1回押すとサマータイム表示が点滅し「サマータイムの選択」状態になります。
ボタンⒺまたはⒻを押すとON（セット）、OFF（解除）が繰り返し表示され、選択できます。
ONにセットするとサマータイムマークが表示して、時刻が1時間進みになります。
②ボタンⒸを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。
※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

ボタンⒸを押すたびに修正箇所が替わります。

→サマータイム → 秒 → 分 → 時 → 日 → 月 → 年 → 12H／24H →

③「秒」の点滅状態で、時報と同時にボタンⒺまたは、Ⓕを押すと「00」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタンⒺまたは、Ⓕを押すと1分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。
④合わせたいところを点滅させたあとボタンⒺを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ遅れます。
合わせたいところを点滅させたあとボタンⒻを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。
（「サマータイム設定」「秒」「12H/24H」を除く。）
※ボタンⒺまたは、Ⓕを押し続けると、早送りできます。

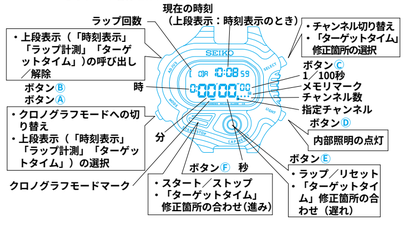
■クロノグラフの使いかた

- 1/100秒単位、10時間計測のストップウオッチです。
- 最大計測時間は、9時間59分59秒99です。
- ターゲットタイムが設定できます。
- 上段の表示は、現在時刻表示、ラップタイム表示、ターゲットタイム表示の選択ができます。
- 1回目から120回目までの計測したタイムを分割してメモリー（記憶）できる分割メモリー機能付きです。
- ラップ回数は、199回まで表示します。
以降は200（表示：00）、201（表示：01）と表示します。

⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終りましたら、ボタンⒷを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
※カレンダーは1995年から2044年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
※報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンⒹが同時に押されたお状態です。その場合は、ⒶⒷⒸⒹⒺのいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

＝全点灯表示＝

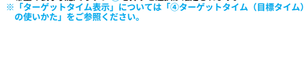
●ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒶを押して「クロノグラフモード」状態にしてください。

①普通の測りかた（上段表示：時刻表示のとき）
例：100メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓕ→Ⓔ→Ⓔ）

※まず上段表示を「時刻表示」、「ラップタイム表示」、「ターゲットタイム表示」の中から選択してください。
・ボタンⒷを1回押すと上段のみの表示となり、更に、ボタンⒶを押す毎に下記の順序で3つの表示が切り替わります。



・希望の表示状態でボタンⒷを押すと選択が確定されます。
※「ターゲットタイム表示」については「§ターゲットタイム（目標タイム）の使いかた」をご参照ください。

②時間計測を積算でおこなう測りかた（上段表示：時刻表示のとき）

例：バスケットボール（ボタンを押す順序：Ⓕ→Ⓔ→Ⓔ……→Ⓔ）

（競技開始）スタート → （競技中断）ストップ → （競技再開）再スタート → （競技終了）ストップ → リセット

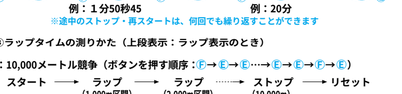
例：1分50秒45　　例：20分
※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます

③ラップタイムの測りかた（上段表示：ラップ表示のとき）

例：10,000メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓕ→Ⓔ→Ⓔ……→Ⓔ→Ⓔ→Ⓔ→Ⓔ）

スタート → ラップ（1,000m区間） → ラップ（2,000m区間） …… → ラップ（10,000m） → リセット

グラフィックは動いています。　ラップ回数



例：3分10秒77　6分20秒88　31分40秒95

上段の表示は、ボタンⒺを押して約10秒間ラップ計測結果を表示し、その後計測状態にもどります。その間はLAPマークが点滅します。
※途中のラップは、何回でもくり返すことができます。
ラップ回数は、199回まで表示します。
以降は200（表示：00）、201（表示：01）と順次表示します。
※「ラップ」を1回以上測った後の「ストップ」は、「ラップ」として数えます。
※上段の表示が時刻表示のときは、ラップ計測後、約10秒後に時刻表示にもどります。

④ターゲットタイム（目標タイム）の使いかた
・目標ラップタイムをセットしてクロノグラフを使用すると、ラップタイム測定時、目標ラップタイムと実際にかかったラップタイム差を自動計算し、その値を表示します（以降連続繰り返し計測）。また目標ラップタイムより遅い場合は、タイムアップ音が鳴って知らせます。
・目標ラップタイムのセットは、1秒から9時間59分59秒まで設定可能です。
※タイムアップ音は「クロノグラフモード」「リコールモード」を除く他のモードでは鳴らすことができません。

目標タイムの合わせかた（上段表示が、時刻表示の場合）
例：周回走（目標タイム2分30秒）

1）ボタンⒷを押して上段表示を「点滅」状態にします。

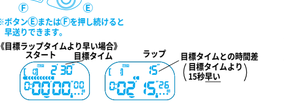
2）ボタンⒶを押して「ターゲットタイム」表示にします。このとき「秒」と TRG が点滅表示します。

3）ボタンⒸを押しますと、押すたびに「秒」「分」「時」が順に点滅表示します。
修正箇所を選択してください。

4）合わせたいところを点滅させたら点滅している数字はボタンⒺを1回押すごとに1つずつ遅れ、ボタンⒻを押すごとに1つずつ進みます。

※ボタンⒺまたはⒻを押し続けると早送りできます。

《目標ラップタイムより早い場合》



※以降ラップをとる毎に連続繰り返し計測します。

《目標ラップタイムより遅い場合》

※目標タイムを過ぎますとタイムアップ音が鳴りますが、以降ラップを取りますと鳴りません。
※上段の目標タイムとの時間差は、ラップ計測後約10秒間表示され、その後目標タイムからの減算表示にもどります。

5）ボタンⒶを押して「ターゲットタイム」表示状態にしてください。
押し忘れた場合でも2～3分後には「ターゲットタイム」表示へ自動的にもどります。

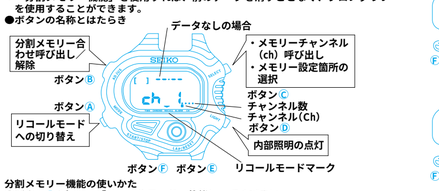
セットされた目標タイム、又は、減算中の残り時間	グラフィックの点灯数(左側10分用)
1″ ～ 10″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
11″ ～ 20″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
21″ ～ 30″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
31″ ～ 40″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
41″ ～ 50″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
51″ ～ 60″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
1′ 1″ ～ 1′ 10″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
1′ 11″ ～ 1′ 20″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
1′ 21″ ～ 1′ 30″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
1′ 31″ ～ 1′ 40″	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
1分41″秒以降	40CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

（グラフィック1ヶ所につき10秒分の表示となります。）

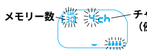
■リコール（呼び出し）の使いかた

- 計測途中、計測後（ストップ状態）でもメモリーの呼び出しはできます。
- 計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。
- 120本のメモリーを分割できる機能を持っています。
- 「分割メモリー機能」を使用すれば、前のデータを消すことなく、クロノグラフを使用することができます。

●ボタンの名称とはたらき



分割メモリー機能の使いかた
●ボタンⒶを押して「リコールモード」状態にしてください。
①ボタンⒷを押すと分割メモリー合わせ状態（メモリー数／チャンネル）になり「メモリー数」と「チャンネル数」が点滅します。

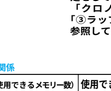


②ボタンⒸを押すと点滅箇所が切り替わります。
使用するところ選んでください。

4ch → 2ch → 1ch

※選択するチャンネル（ch）数によって、各チャンネル（ch）において使用できるメモリー数が違います。下表を参照して選択してください。

③セットが終わりましたらボタンⒷを押して「リコールモード」に戻してください。押し忘れた場合でも2～3分後には「リコールモード」へ自動的に戻ります。



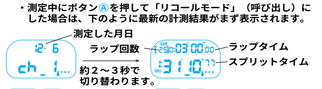
※チャンネル（ch）とメモリー数の関係

チャンネル数表示	メモリー数（使用できるメモリー数）	使用できるチャンネル(ch)
4CH	30	1ch・2ch・3ch・4ch
2CH	60	1ch・2ch
1CH	120	1ch

④セットができましたらボタンⒶを3回押して「クロノグラフモード」にし、ボタンⒺでメモリー使用チャンネル（ch）を指定してから測定をしてください。
「クロノグラフの使いかた」の「③ラップタイムの測りかた」を参照してください

⑤・測定が終わり（スタート／ストップ）ましたらボタンⒶを押して「リコールモード」にしてください。

・測定中にボタンⒶを押して「リコールモード」（呼び出し）にした場合は、下のように最新の計測結果がまず表示されます。



例：チャンネル（ch）1で25ラップメモリーした場合

⑥ボタンⒹまたはボタンⒻを押すごとに次の順序でメモリーされたラップ・スプリットタイムを表示します。

・計測後ボタンⒺを押した場合（最終（30）ラップのとき）

上段の表示 → 最初(1)ラップタイム／スプリットタイム → 測定した月日／設定したチャンネル → 30 → 29 ……→ 2
下段の表示

※上段はラップタイム表示　下段はスプリットタイム表示

・計測後ボタンⒻを押した場合（最終（30）ラップのとき）

上段の表示 → 最初(1)ラップタイム／スプリットタイム → 2 ……→ 29 → 30 → 測定した月日／設定したチャンネル
下段の表示

※上段はラップタイム表示　下段はスプリットタイム表示

・計測中ボタンⒺを押した場合（最新（25）ラップのとき）

上段の表示 → 最終(25)ラップタイム／スプリットタイム → 24 ……→ 2 → 1 → 測定した月日／設定したチャンネル
下段の表示

※上段はラップタイム表示　下段はスプリットタイム表示

・計測中ボタンⒻを押した場合（最新（25）ラップのとき）

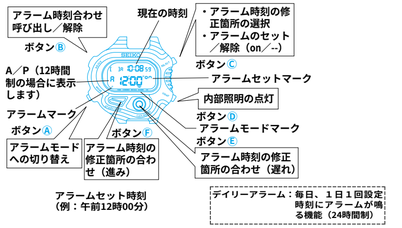
上段の表示 → 最終(25)ラップタイム／スプリットタイム → 測定した月日／設定したチャンネル → 1 → 2 ……→ 24
下段の表示

※上段はラップタイム表示　下段はスプリットタイム表示
※計測中にリコール（呼び出し）し約30秒放置すると、計測状態にもどります。
※計測中は、「分割メモリー合わせ呼び出し／解除」はできません。

■アラームの使いかた

- デイリーアラーム付きです。
- アラームのセット（on）／解除（--）の切り換えができます。

●ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒶを押して「アラームモード」状態にしてください。

①ボタンⒷを1回押すとonまたは、--表示が消え、「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。

②ボタンⒸを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。

③合わせたいところを点滅させたら、点滅している数字はボタンⒺを1回押すごとに1つずつ遅れ、ボタンⒻを1回押すごとに1つずつ進みます。

④セットが終りましたらボタンⒷを押して「アラームモード」に戻してください。アラームマークとセット（on）マークが点灯します。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラームモード」へ自動的に戻ります。

※ボタンⒺまたはⒻを押し続けると、早送りできます。
※12時間制の場合は、A/P（午前/午後）に注意して合せてください。
※アラーム表示の12H/24Hは、「時刻・カレンダーモード」の12H/24Hに連動しています。

■ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻・カレンダーモード

クロノグラフモードマークが点滅している場合は、ストップウオッチが計測中であることを示しています。

●ボタンⒶを押すごとに、次の順序で切り替わります。

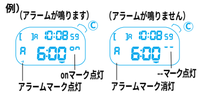
時刻・カレンダーモード -TIME- → クロノグラフモード -CHRONO- → リコールモード -RECALL- → アラームモード -ALARM-

※操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。
「アラームモード」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わるところのみ音色が違います。
（操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。）
※ボタンⒹを押し続け内部照明を点灯させている状態では全てのモードにおいて他のボタンが機能しません。

●アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。

※「アラームモード」でボタンⒸを押すごとに、セット（on）と解除（--）ができます。

例）（アラームが鳴ります）　（アラームが鳴りません）



アラームセット状態　アラーム解除状態

●鳴っているアラームを止めるとき。
※アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時は、ボタンⒶⒷⒸⒹⒺⒻいずれか1つのボタンを押してください。

ただし、ストップウオッチを使用中に鳴った場合はⒶⒷⒸⒹいずれか1つのボタンを押してください。

●アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除をするとき。
※「時刻・カレンダーモード」でボタンⒸを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンⒸとⒹを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

（報時します）　（報時しません）

※報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。

■エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)の交換について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。

※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約240時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。
電池を交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、7年をすぎますとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換を申しつけください。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

- 電池交換後や万一異常な表示（読めない表示など）をした場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。
- システムリセットのしかた
ⒶⒷⒸⒹ 4つのボタンを同時に2～3秒間押し、表示が消え、ボタンを離した後「1-1 SU 12時00分00秒」の表示になります。

※分割メモリー機能は、自動的に「30メモリー／4CH」に設定されます。
※システムリセット後は、メモリーされていたデータ等すべて消えます。日付・時刻合わせ等も必要となりますのでご注意ください。